

としょかんだより

【下條村立図書館 130号 2017年9月15日発行】

幼い頃に読んでもらった絵本は、不思議と五感で覚えていることがあります。『ちびくろさんぼ』のホットケーキや『ぐりとぐら』のカステラ…その時感じた匂いや温かさや喜びは、一生涯忘れない記憶となります。その感覚は自分の中に生き続け、本の楽しさはもちろん、生活の喜び、読んでくれた人への信頼につながります。人の成長の中で、読書が実を結ぶときは必ずやってきます。さまざまな実りのときを迎える秋、ぜひ図書館へお出かけください。

としょかん大好き家族 part106 大野さんご一家 山二(塚澤)

平日は、毎日のように児童クラブから図書館にやってくる大野さくらちゃん(長女・2年生・8歳)は、カウンターが大好き♡ 担任の藤巻先生から教わった、競技用けん玉もあります！いろいろなジャンルの本を借りては、このごろ作った“読書手帳”に「借りた本がわかるシール」を貼り付けていきます。さくらちゃんは、ケーキの絵のついたピンク色の手帳を選びました。「もっと借りたい！いろいろな本を読んで、シールを貼っていくのが楽しみ。今8ページまでいったから、早くいっぱいになりたい」そうです。

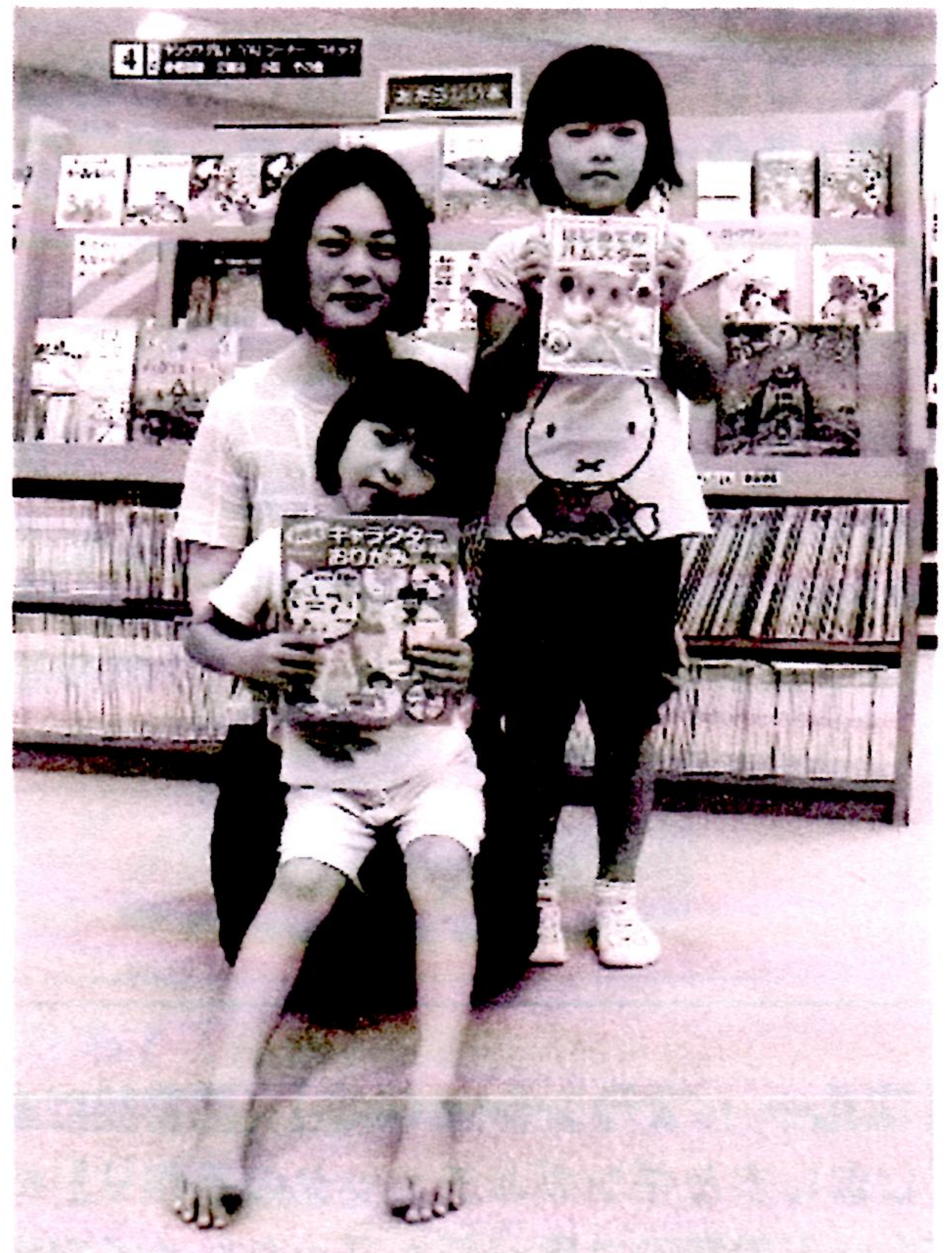
今日は、お母さんの純江さんと保育園帰りのゆづきちゃん(年長組・5歳)が、さくらちゃんを迎えに来ました。ゆづきちゃんは、いま工作に夢中です。保育園では、先生が皆に呼びかけて、工作で使う材料(トイレットペーパーの芯や空き容器、紙箱等…)家からいろんな廃材をたくさん持ち寄って、自分の作りたいものを自由に作っているそうです！

今日は、おばあちゃんの優美子さんと一緒に作る

“折り紙の本”を借りました。夕飯を食べた後、おばあちゃんのところへ行って折り紙でシュリケンや宝箱を作ったり、新聞紙でスリッパを作ったり…とっても楽しいひとときを過ごします。ゆづきちゃんも、読書手帳はもちろん持っています！(オレンジ色のジュースの模様にしました)

お母さんは、料理の本を借りてメニューの参考にしてみたり、さくらちゃんが料理の本を借りて、お母さんに作ってもらったりするそうです！

子どもたちと一緒に図書館に来て、ふたりのカードをつくってくれたのは、お父さんの徹さん！忙しくてなかなか自分で本を借りることはできませんが、図書館に連れてきてもらって二人は幸せですね！



もくじ

- 1p: としょかん大好き家族
- 2p: ハンドメイド教室予告
- 3p: 陽阜局情報・館長雑感
- 4p: 新刊ぴっくあっぷ

この秋、手作りに チャレンジしませんか？

11月18日～12月17日は、読書月間です。

今年も、古本市、「クリスマス料理教室」「本を借りたら包丁研ぎサービス」など、楽しくて、役立つイベントが盛りだくさん！

そして、今年11月のおたのしみ会では、初めての講師を迎え魅力的な手づくりワークショップを開催します。

すてきな作品ができあがったら、文化の祭典（11月20～23日）に展示の予定です。

11月18日（土）

10:00～親子向け：「楽しい！カワイイ！ハンドメイド」

13:30～大人向け：「とっておき！ハンドメイド」

11月19日（日）

10:00～親子向け：「はじめてのコラージュ」

13:30～大人向け：「コラージュの楽しみ方」



Bleu Blanche ブルー・ブランシェ

下條村の休戸出身の田沢明子さん&由美さん姉妹のハンドメイドユニット。2000年より京都に移り住み、本格的にハンドメイド作家として活動を開始。コンセプトは「楽しい、カワイイを形にすること」。

雑誌や書籍、作品展などで、布で作る雑貨や、コラージュ作品を発表している。

アトリエでは、予約制の手作り教室を開く。

著書多数あり。

【ブルー・ブランシェの本】（図書館にあり。借りられます！）

『しましまとギンガムチェックの手作り』パッチワーク通信社（2013年）

『もっと素敵にコラージュブック』メイツ出版（2011年）

『ハワイのかわいいデザインたち』ピエ・ブックス（2008年）

『Aloha Hawaii』Mille books（2005年）

『大好きな布で作ろう』文化出版局（2005年）

『とびきりカワイイを作ろう』文化出版局（2004年）

『ミーシャのパリ散歩』Mille books（2004年）

『B. B. book』Mille books（2004年）ほか



akiko + yumi = Soeur

10月に入りましたら、募集のチラシを配布します。
どうぞ、ご参加ください！

陽阜郵便局が 雑誌に紹介されました！

「本の雑誌」本の雑誌社発行 全国誌に掲載されました！

☆2017年2月号☆

【お散歩図書館】という特集ページで「切手を買うついでに、本を借りよう！」と題し、下條村のこと、村立図書館のこと、陽阜郵便局のことがまるまる1ページにわたって紹介されています。郵便局内にある【POSTミニ図書館】の看板や本棚も、写真で紹介されています。



☆2016年10月号☆

【特集＝400号記念なんでもベスト10！】
のなかの「図書館10傑」の記事。日本を代表する図書館10館の中に、陽阜郵便局が選ばれて紹介されています！

日本図書館協会の統計によると日本の図書館総数（2015年）は、3261館。2016年10月時点で直営の郵便局は20094店舗です。図書館利用が困難な地域にも郵便局があります。本へのアクセスに格差が生まれるのは悲しいのでこの取り組みが広がるといいな。（2017年2月号 本文より）

これらの記事を書いているのは、鎌倉幸子さん。8年間シャンティ国際ボランティア会カンボジア事務所で本の出版、図書館活動に従事。東日本大震災直後に岩手県に入り、移動図書館事業を立ち上げた。現在アカデミック・リソース・ガイド(株)在籍。著書に『走れ！移動図書館 本でよりそう復興支援』他。2016年11月11日に来村し、陽阜郵便局を訪問、取材。いろいろな場面で発信を続けている。

あしたむらんの窓から

「横断歩道を渡る子供たち」（雑感）

図書館にはこの夏休みに入って、児童クラブに来ている子供たちが大勢来館してくる、朝10時頃から11時30分頃まで集団でやってくるのである。一時はロビーを飛び跳ねる声でにぎやかなこともあるが、「子どもたちの声が響く元気な図書館」を自認している者としては大変うれしく思っている。

そこでだが、児童クラブから図書館にやってくるには、図書館とコスモホールの上に少し長い、いつもは車がほとんど往来しない横断歩道がある。ところがここに来る子供たちは全員手をきちんとあげ、左右をしっかりと見て渡ってくるのである。「横断歩道を渡るときは手を挙げて左右を見て渡りなさい」と、ことあるごとに学校で指導されているのであろう。実に教育というものは大変な力を持っているものだと思ふのである。

学校というところは、勉強を教える所だけではない、生きていく力をつける所だと、子どもたちの姿を見て強く感じている。

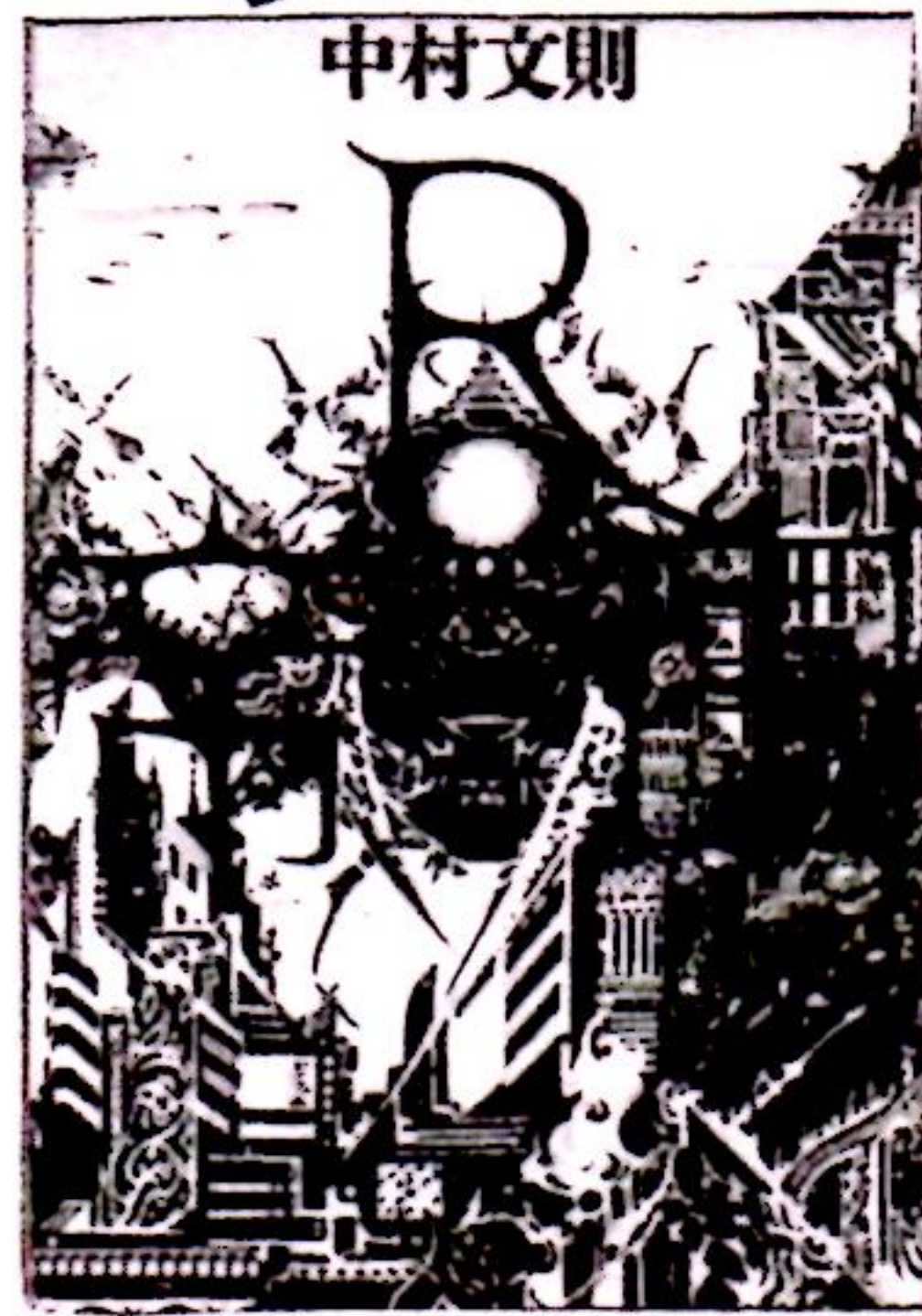
図書館長(教育長)串原良彦



新刊 ぴゅあ



「ルビンの壺が割れた」 宿野かほる著 新潮社／「突然のメッセージで驚かれたことと思います。失礼をお許しください」—送信した相手は、かつての恋人。SNSでの邂逅から始まったごちないやりとりは、徐々に変容を見せ始め…。裏面作家によるデビュー作。*Fヤ



「R帝国」 中村文則著 中央公論新社／舞台は近未来の島国・R帝国。ある日、矢崎はR帝国が隣国と戦争を始めたことを知る。国家を支配する絶対的な存在「党」と、謎の組織「L」。やがて世界は、思わぬ方向へ暴走していく。*Fナ



「この世の春 上・下」 宮部みゆき著 新潮社／美貌の青年藩主・重興が、突然隠居を強いられるという変事のあった北見藩。重興の押し込められた座敷牢からは、夜な夜な奇怪な声が。亡者たちの叫びか、それとも…。*Fミ



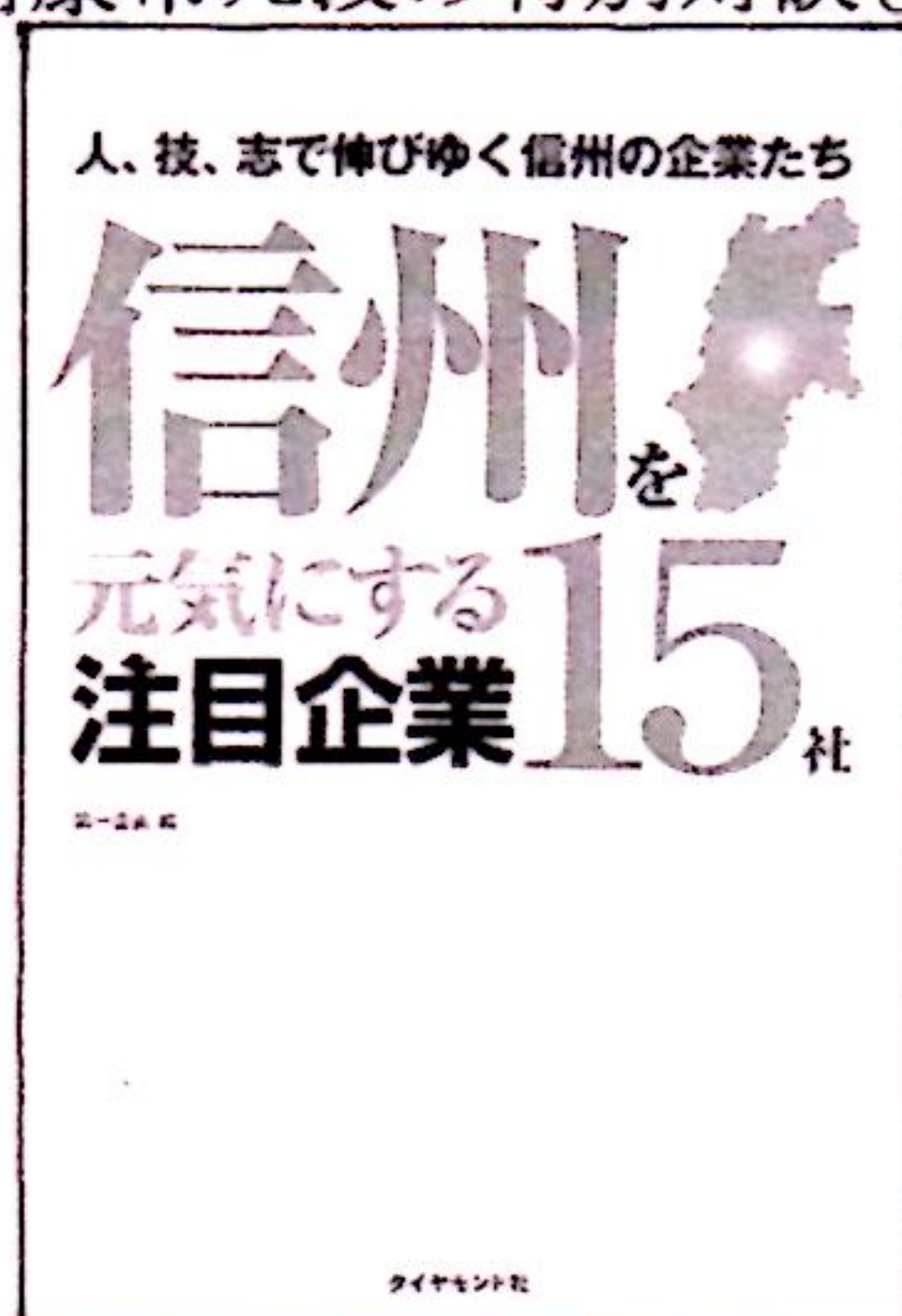
「藤井聡太 名人をこす少年」 津江章二著 日本文芸社／将棋界の超新星・藤井聡太の奇跡を超えた新記録から将棋界の未来予想図までを、豊富な秘蔵カラー写真とともに掲載。森下卓九段と深浦康市九段の特別対談も収録。*796ツ



「やばい老人になろう やんちゃでちょうどいい」 さだまさし著 PHP研究所／永六輔、井伏鱒二、黒柳徹子、安岡正太郎…。著者・さだまさしがこれまでに会った「じい」や「ばあ」たちの「圧倒的な生き様」や「やばい老人力」を伝える。*914サ



「自由を盗んだ少年 北朝鮮悪童日記」 金革著 太田出版／命がけの国境越え、「生活総和」という相互監視、悲惨な孤児院、生き地獄の教化所、そして韓国へ…。北朝鮮の統制空間から外れ、法的保護を受けられない放浪者、路上生活者「コッチェビ」だった著者が半生を綴る。*929キ



「信州を元気にする注目企業15社 人、技、志で伸びゆく信州の企業たち」ダイヤモンド社／創意工夫をこらした商品を提供する、オリジナルの高い技術を生かして製品をつくる、新しい視点で顧客のニーズをつかむ。個性がきらりと光る長野県の企業を紹介。*335シ



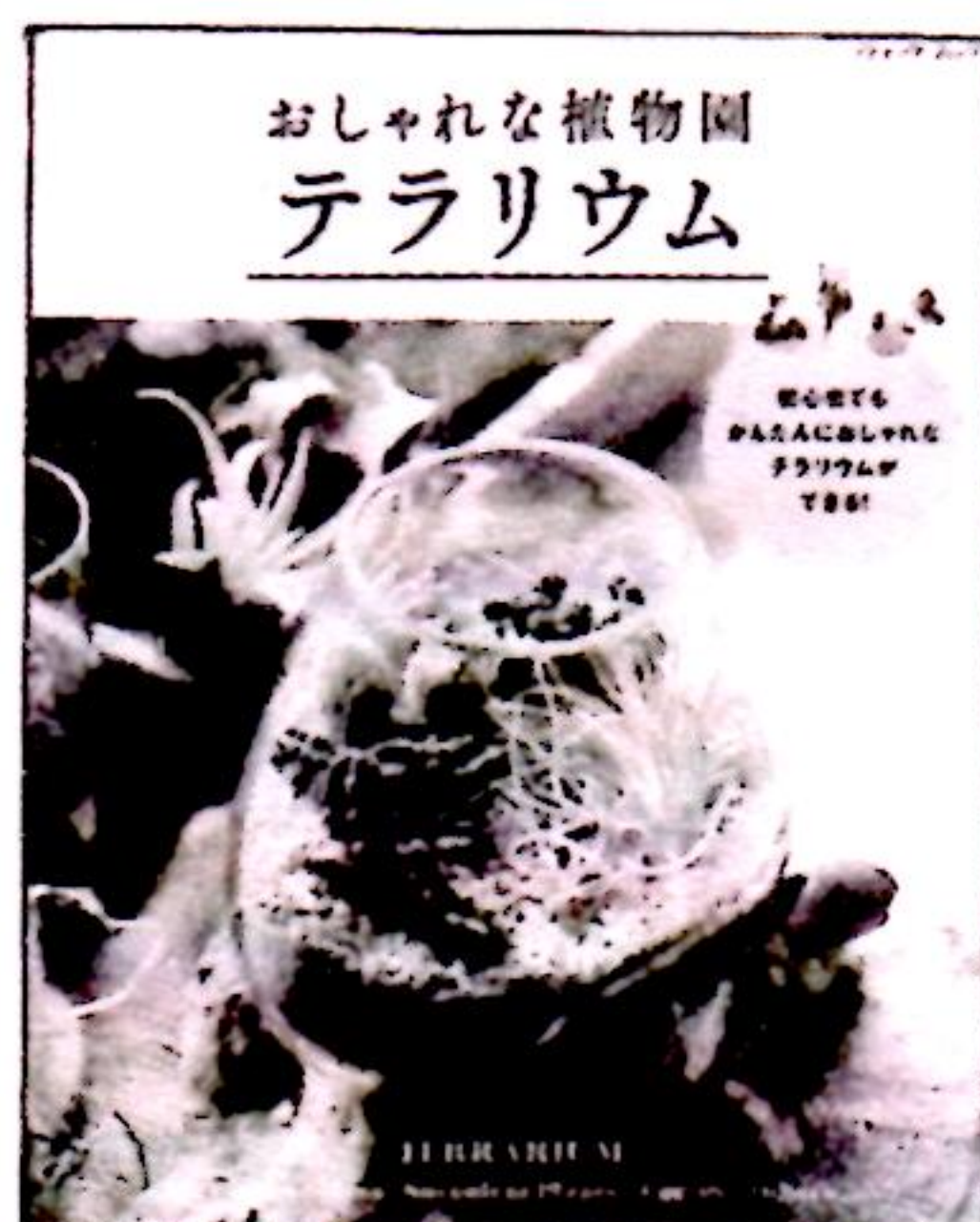
「はじまりは愛着から 人を信じ、自分を信じる子どもに」 佐々木正美著 福音館書店／愛着とは親から無条件に、充分に、永遠に愛されるという実感を基盤にして、母親との関係で育まれるもの。児童精神科医である著者が、子育てで心に留めておきたいことを綴る。『暮らしの手帖』連載を単行本化。*379サ



「スマホ廃人」 石川結貴著 文芸春秋／ネットやゲーム、しつけや子守りまで、単なる端末の域を越え活用の幅が広がるスマホ。一方、中毒性が指摘され、長時間の使用は身体への影響が懸念されている。この先に待っているものは…。豊富な取材をもとに最前線を追う。*007イ



「育苗からわかる野菜づくり 品質・収量を大きく変える」 野口貴ほか著 誠文堂新光社／果菜類から豆類まで、全36品目の野菜の栽培方法を解説。野菜全般に広く応用できる育苗の基本技術や被覆資材の使い方などについて、写真や図表を交えて記述。*626イ



「おしゃれな植物園テラリウム 初心者でもかんたんにおしゃれなテラリウムができる！」 プティック社／エアプランツや苔、多肉植物など好みの植物や、流木、貝殻といったマテリアルをガラス容器に入れインテリアとして楽しむテラリウム。様々な作品とともに、基本の作り方とコツ、植物の育て方等を紹介。*627オ



「基本がいちばんよくわかる刺しゅうのれんしゅう帳 初心者でもかんたん！コツがわかるから、もっとうまくなれる！」 寺西理恵子著 主婦の友社／刺しゅうを始める前の基礎を解説し、ライン刺しゅう、クロス刺しゅう、クロスステッチ刺しゅう、ビーズ刺しゅう等の図案や作品をコツと共に紹介。*594テ